

ACCESS

東京メトロ日比谷線「小伝馬町」

(徒歩4分)

1番出口を出て、小伝馬町交差点から、人形町通り(5車線の一方通行)を車の流れとは逆方向に進みます。

都営浅草線・東京メトロ日比谷線「人形町」

(徒歩6分)

A5出口を左方向に出て、交差点に戻り、交差する5車線の一方通行を車の流れに沿って進みます。

都営新宿線「馬喰横山」

(徒歩8分)

A3出口を出て、前面の5車線の一方通行の信号を渡ります。郵便局の前の裏通りの一方通行を、車の流れに沿って進みます。

JR総武線快速「新日本橋」

(徒歩10分)

5番出口(左の方)を出て、昭和通りを渡り、江戸通りに沿って、小伝馬町交差点へ出ます。交差する5車線の一方通行を車の流れとは逆方向に進みます。

東京駅八重洲口

(タクシー使用 / 料金 960円程度)

常盤橋交差点を右折、日銀の手前の方通行を通り、東京商品取引所入口交差点の信号付近で下車します。



Associational Profile

Japan Users Association of Information Systems


<https://juas.or.jp/>


一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

Japan Users Association of Information Systems

〒 103-0012

東京都中央区日本橋堀留町 2-4-3

TEL: 03-3249-4101

<https://juas.or.jp/>

一般社団法人
日本情報システム・ユーザー協会

ユーザーの発想が未来を創る

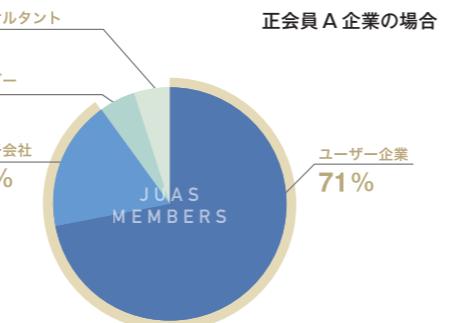
イノベーションで企業を変える、日本が変わる

JUASとは一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(Japan Users Association of Information Systems)の略称です。今日の経済活動は、コンピューターや通信ネットワークなどの情報技術のめざましい進歩に支えられ、日々発展を続けています。そのため、「情報技術を企業活動に組み入れ、有効に機能させる」、これが企業競争力の向上のための重要な課題となっています。このように企業活動と情報技術が密接なつながりを持つ中で、JUASでは単なる会員相互の知恵や情報を結集する場にとどまらず、ユーザーの立場から情報活用を推進するべく、実務に則した研究・調査を通じて、行政や情報産業界に対して積極的に情報を提供し、各種働きかけを行っています。



JUAS会員の特徴

会員は産業界の有力企業が業種・業態を越えて広く集まって構成されています。ユーザー企業、情報子会社あわせて約9割、名実ともにユーザー企業の団体として活動しています。



JUAS 会員メリット

Benefits of Membership

業種・業態の垣根を越えた会員活動

- 自分の会社の現状に対する客観的な判断
- 成功、失敗を問わない、ユーザー相互の本音の意見交換の場
- 組織力の強化につながる人材育成の場

業務に役立つ実践的セミナーの開催

JUASでは「IT活用・利用」、「業務改革～IT化企画まで」、「開発・保守」、「運用」など、あらゆる場面で必要とされる知識、ノウハウをテーマに、各界の第一人者を講師に招いたセミナーを連日開催しています。このセミナーを会員割引価格で受講していただくことができます。

各ユーザー企業の意見、要望を業界や行政に提言

情報システム関連の施策、あるいは産業界の動向に対し、ユーザー団体として一致団結し、代表して関連行政機関への提言、意見具申を行うなどの活動を行っています。

関連する行政機関への政策提言

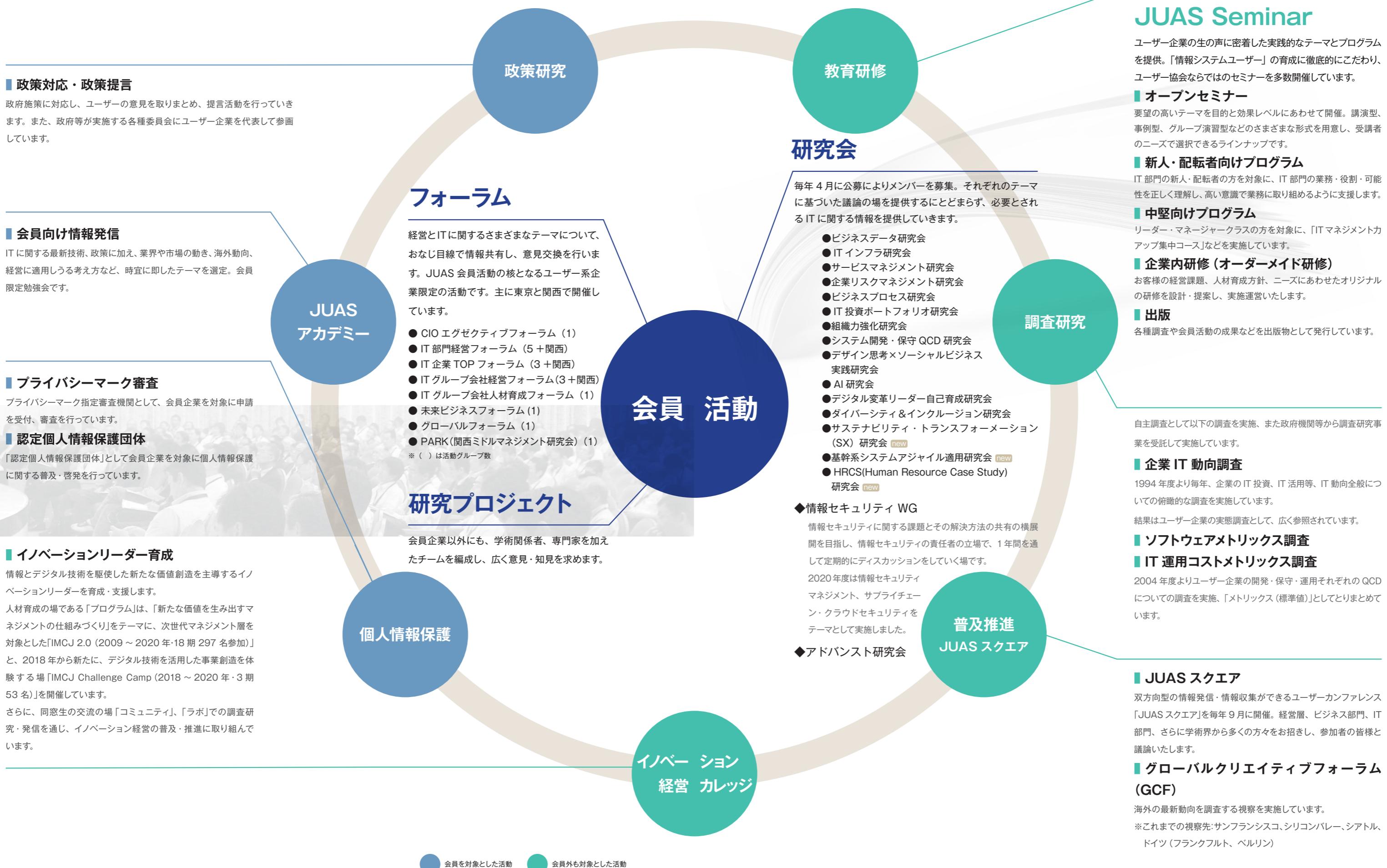
情報システムに関する調査・研究

研究会、研究プロジェクト、そして調査研究や委員会などを通じて、情報システムに関連するさまざまなテーマの調査、研究を行っています。年度末には報告会を開催し、その成果をHPや報告書として公開しています。

プライバシーマークの取得・更新

個人情報保護管理やセキュリティ管理のためのマネジメントシステムを確立

セキュリティセンターを通じ、会員企業、およびそのグループ会社のプライバシーマークの審査を行っています。経験豊富な審査員による審査ときめ細かい対応により、個人情報保護管理やセキュリティ管理のためのマネジメントシステムを確立することができます。



JUASスクエア

ユーザー事例紹介、パネル討論会にオープンディスカッション、コンサルセッションと盛りだくさんの一大イベント



JUAS 書籍・報告書

JUAS の活動結果として蓄積された豊富な知見、統計資料を広く一般に公開



会員活動

業種、業態を越えて情報共有し、お互いに知見を得る



JUAS セミナー

講義形式や演習形式で真の実践力を身に付ける



イノベーション経営カレッジ (IMCJ)

イノベーションリーダー育成のために



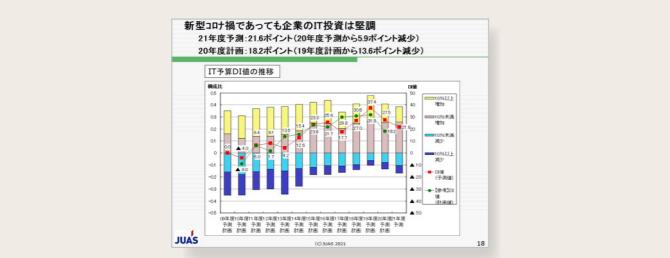
新人・配転者向けプログラム

20年後のイノベーション経営の担い手を育てる



企業 IT 動向調査

企業の IT 投資や IT 利用動向を分析



セキュリティセンター

プライバシーマークの審査を行っています



名称 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
(Japan Users Association of Information Systems: JUAS)

所在地 〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町 2-4-3
TEL: 03-3249-4101(代表・会員)、4102(教育研修)、4103(セキュリティセンター)
03-3249-6130(セキュリティセンター)

代表者 会長 大林 剛郎
専務理事 三宅 晃

会員数 4305 社
正会員 A: 241 社、正会員 B: 192 社、正会員 C: 3872 社
(2021年 6月 1日現在)

沿革 1962 年 4 月 日本データ・プロセシング協会創立
企業や団体においてコンピューター業務に携わる管理者・技術者が、情報交換・研究交流・相互研鑽の場として創立。1981 年 2 月に社団法人化。
1992 年 7 月 拡充改組 社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
広域情報化に代表される経営・情報化環境の変革に対応するために、ユーザーの立場での産業情報化の推進を目的とする団体として組織・運営体制を改革。
2012 年 4 月 一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会に移行

目的 本会は、産業活動における IT の高度利用（経営革新を含む）に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等を行うことにより、IT 利活用の向上を促進し、もって我が国産業経済の発展に寄与することを目的とする。

主な活動

- IT の高度利用に関する調査及び研究
- IT の高度利用に関する普及啓発及び指導
- IT の高度利用に関する情報の収集及び提供
- IT の高度利用に関する資格認定
- IT の高度利用に関する内外関係機関等との交流及び協力
- IT の高度利用に関する関係機関への提言及び要望